

民権連通信

民主主義と人権を守る府民連合（民権連）

〒556-0024 大阪市浪速区塩草 2-2-31

TEL (06) 6568-2031 fax (06) 6568-2047

民権連第15回定期大会開かれる！（6/10）



6月10日、きづがわ医療生協会館において民権連第15回定期大会が開かれました。冒頭、谷口正暁委員長は、「2004年6月6日に全解連から民権連へと改組してこの15年間、『部落問題を子どもや孫の世代に背負わせない。私たちの時代で決着をつける』との決意でとりくみ、今、最終的解決の段階にまで到達した。このことに確信と喜びをもって15回大会を成功させたい」と挨拶しました。

北脇輝夫書記長が総括と運動方針案を提案。2018年度は、①「同じ市民として普通に暮らす（国民融合）を府民に広めます。②地域内に見られる「乱脈行政の傷跡」を一掃し、安心・安全、住んでよかったまちづくりを進めます。③学校教育から「部落問題学習」をなくすとりくみを進めます。④「部落差別解消推進法」と附帯決議を活かし、部落問題の最終的解決を展望したとりくみを進めます、の4点を「とりくみの基調」として、今年度の各分野における運動方針案を提案しました。藤原暁代副委員長による会計報告と予算案提案のあと、討論に入りました。

西田照代さん（箕面）、藤本博さん（東大阪）、大関七郎さん（八尾）、田代恵子さん（寝屋川）、柏木功さん（府連）の5人から各地域のとりくみと教育分野での府連の活動について発言が行われました。運動方針案、予算案、新役員など満場一致で採択、大会宣言を読み上げて大会は終了しました。

第二部の懇親会では美味しい料理を囲みながら、和気藹々と歓談、日ごろの奮闘をねぎらいました。久しぶりに参加した人も迎え、笑顔あふれる懇親会になりました。

<大会発言>

★西田 照代（箕面）

毎年1月に総会と懇親会を開いている。高齢化が進む中で唯一全員が集まる場となっている。4月のこどもカーニバルは2500人の参加でにぎわった。盆おどり大会は昨年で40回、3300人の参加が。炭坑節の替え歌を作り皆さんに歌ってもらった。人権協会の廃止が大きな課題になっている。市営住宅入居案内の当選倍率優遇の見直しを求めて箕面市、大阪府と協議を行ってきた。

(2018年度役員)

執行委員長	谷口 正暁
副委員長	明石 輝久
同	石田 清美
同	工藤 一郎
同	坂東 勝
同	藤原 暁代
書記長	北脇 輝夫
書記次長	亀谷 義富
同	藤本 博
執行委員	内田 昭治
同	大阪谷 敏兼
同	柏木 功
同	工藤 千代美
同	田代 寛文
同	山本 善信

★藤本 博（東大阪）

今日6月10日は56年前に蛇草支部が結成された記念の日。「和氣愛々」も10周年を迎えた。盆おどりも今年で55回目を迎える。昨年10月に行った支部結成55周年バスツアーには55名が参加、この中で会員が5名増えた。生活相談活動では立場の違いから疎遠だった人たちが相談にきている。東大阪市50周年のレセプションには民権連の喜多信子さんが招待された。長瀬人権文化センターの日曜日開館を求めるとりくみを進めている。



★大関 七郎（八尾）

4月12日に要求書を提出し5月30日八尾市との懇談を行った。そこでは八尾市の人権・同和行政の最大の問題点が「同和地区、同和问题」に対する認識であることが明らかになった。市は「差別の対象となる同和地区は今なお存在する」と回答した。「どこに存在しているのか」と問うと「それは確定出来ない」と矛盾したことを言う。この背景には田中誠太市長とそれに繋がる人権協会幹部による解同べったりの同和行政が続いてきたことにある。人権協会へは約1000万円の助成金、それ以外に5千数百万円の事業委託費が使われている。まじめな職員も解同の考え方に侵されている。今回の懇談を契機に八尾市政を変えていきたい。6月13日には「八尾市政を考える交流集会—八尾市の『人権・同和行政』を考える—」を行う。

★田代 恵子（寝屋川）

市営住宅第一期建替えが完了し今年の1月から寝屋川東住宅、高齢者向け借り上げ住宅の入居が進み入居者に喜ばれている。東部まちづくりの会では2012年から専門家を招いて「住みよい東部のまちづくりを考えてみませんか」ととりくみ、2014年に「希望ヶ丘沿線 まち育てプラン」を作成し寝屋川市に提案してきた。この結果、ゆったりとした住宅が出来上がった。東寝屋川駅周辺の再開発問題では、耐震化問題によるイズミヤが駅西側に移転予定。残されたイズミヤの有効活用として旧イズミヤをイノベーションして「若者がどんどん集まる拠点にならないか」と検討、「イズミヤを市民的利用にコンバージョンする構想」にまとめ上げ市の担当者との懇談で提起した。2小・1中を統合する小中一貫校問題では前市長時代の計画を見直すよう働きかけ、申し入れ・ビラ配布・地元説明会・市教委との懇談などにとりくんできた。今年4月市教委の人事が変わり市民の声を聞く方向に変わってきた。

★柏木 功（府連）

教科書問題で教育委員会交渉を行い、その結果、教育委員会が教科書会社に民権連の声を伝えると谷口委員長から連絡があった。これが教科書会社に持っていった民権連の資料です。今まで解同の言うことをやるのが教育委員会やと思っていた。民権連の資料を教育委員会が持っていき、なぜそこまで来たのか。なぜこんな変化をもたらしたのかを考えた時、国民融合路線の事実と道理に基づいた運動、理論的な正しさは前提だが、決定的だったのは民権連委員長を始め役員・地域の会員の皆さんが、この運動に確信を持って「この運動に後継者はいない。子や孫に引き継がない。私たちの時代で決着をつける」という気迫、本気度を示す行動を展開してきたことにある。何回も

役所に足を運んで、職員一人一人に部落問題の解決とは何かを語り対話し、その気迫と本気度を示す行動、これが対応する職員の市民の役に立つ仕事をしたという心と響き合い、民権連とともにわれわれも努力しようという一歩を促したに違いない。私が驚いたことは、去年の府教委交渉が決裂したときに、交渉に参加の皆さんがごく自然に教育長の部屋に押しかける。対話を求めて教育長に会いに行く、委員長がやれと言って行くのではなく、参加者が自然にす〜っと行く。それを今年も同じようにやる。こういうとりくみの中で行政の職員も一緒になってモグラ叩きをするようになってきた。この到達はすごいと思う。

<大会スローガン>

- ★新法と附帯決議を活かし、部落問題の最終的解決を実現しよう！
- ★安心・安全、住んでよかったまちづくりを進めよう！
- ★安倍政権打倒、市民と野党の共闘で政治を国民の手に取り戻そう！
- ★維新政治を打ち破る府民の共同を前進させよう！

民主主義と人権を守る府民連合 第15回定期大会へのメッセージ

民主主義と人権を守る府民連合の第15回定期大会に連帯のご挨拶を申し上げます。

住民が仲良く、住んで良かったといえる地域づくり、府民の人権が本当に尊重される民主的な社会づくりを目標に、府民共同のたたかいに奮闘されているみなさんに敬意を表します。

また、時代錯誤の「部落差別解消法」のたたかいでは、特別のご尽力をいただき、大阪の民権連のたたかいの成果を国会論戦に生かし、附帯決議を勝ち取り「部落差別解消法」が「特別法」の時代へ後戻りさせる根拠にはならないことにすることができました。

改めてお礼申し上げます。

秘密保護法、安保法制（戦争法）、共謀罪・・・、個人の尊厳がないがしろにされる安倍政治の暴走が極まっています。日本共産党は野党共闘をさらに前進させ、安倍政治を終わらせ個人の尊厳が大切にされる社会実現をめざして力をつくします。

本会の盛会を願ってメッセージとします。

2018年6月10日

日本共産党参議院議員	山下	よしき
同 参議院議員	たつみ	コータロー
同 参議院議員	大門	みきし
日本共産党衆議院議員	宮本	たけし
同 前衆議院議員	清水	ただし
日本共産党大阪府国政対策委員長	わたなべ	結

民主主義と人権を守る府民連合 第15回定期大会メッセージ

民主主義と人権を守る府民連合が、民主主義と人権を守り発展させ、部落問題を解決するために、長年にわたり献身的に活動されていることに敬意を表します。

貴団体は、「部落差別解消推進法」を許さない闘いで、その問題点をいち早く指摘し、それが「部落差別解消推進法」反対の運動と国会論戦に生かされ、時代を逆戻りさせないための衆参両院での附帯決議を勝ち取りました。

また貴団体が、教科書会社や府教育庁を訪問し、部落問題についての教科書記述の誤りと問題点を指摘し、府教育庁に具体的な行動をとらせたことは画期的な成果であり、わたしたちを励ますものです。

現在大阪教職員組合は、府教育庁に対して、①「部落差別解消推進法」を理由に部落問題学習を押しつけないこと、②「部落差別の実態に係る調査」を行わないこと、③「部落差別解消」を口実とした運動団体による学校教育への介入を許さないことなどを求めて、とりくみを強めています。

今後とも大阪教職員組合は、子どもたちの健やかな成長・発達を保障する教育を推進し、特定の理論にもとづく「人権教育」や部落問題学習を許さないために奮闘する決意です。

最後になりましたが、貴団体が今定期大会を成功させ、部落問題解決への展望ある方針を確立されることを期待して、連帯のメッセージとします。

2018年6月6日

大阪教職員組合中央執行委員長

小林 優

大会メッセージ（敬称略）

大阪府知事 松井 一郎
日本共産党参議院議員 山下 よしき
同 たつみ コータロー
同 大門 みきし
日本共産党衆議院議員 宮本 たけし
前衆議院議員 清水 ただし
国政対策委員長 わたなべ 結
全大阪労働組合総連合
安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会
大阪教職員組合
大阪府立高等学校教職員組合
大阪平和委員会
大阪アジア・アフリカ・ラテンアメリカ
連帯委員会
大阪から公害をなくす会
篠浦 一朗
（人権連関係）
全国人権連／茨城人権連／栃木人権連
群馬人権連／長野人権連／神奈川人権連
三重人権連／兵庫人権連／和歌山人権連
岡山人権連／山口人権連／福岡人権連

大会宣言

民権連第15回定期大会は、本日、むこう一年間の運動方針と新役員を決定し、任を終えました。

大阪における部落問題は今日、最終的解決の段階に到達し、運動の終結を語り合える時代へと突き進んできました。「部落問題を子や孫の世代に背負わせない」とした私たちの決意とたたかいが現実のものとなり、今、目の前に大きな花を咲かせています。私たちは、「民主主義と人権を守り発展させる」歴史の大道を歩んできたことを大きな誇りとするものです。

森友・加計疑惑、公文書改ざん、自衛隊の日報隠ぺい、裁量労働データねつ造、学校への不当介入、財務省のセクハラ、そして麻生財務大臣の「セクハラ罪はないよ」という暴言……。この国が頭から腐っている姿を私たちは目の当たりにしています。政府トップのウソが、この国の民主主義を根底から崩壊させようとしています。ウソをついて開き直る。倫理も道理もない人物に憲法を語る資格はありません。市民と野党の共闘で安倍政権による9条改憲を許さず、即時退陣を求める世論と運動を飛躍させましょう。

また維新政治による「大阪都構想」の再度の住民投票も許すことは出来ません。世論調査の結果、「都構想」反対が賛成を大きく上回り、大阪市民の間では決着しています。大阪市民は「都構想」も「総合区」も両方に反対しています。市民の力で「都構想」断念、カジノ取り止めに追い込みましょう。

「部落差別の解消の推進に関する法律」への対応については、「法」と「附帯決議」を活かし部落問題の最終的解決を展望したとりくみを進めていきます。行政・教育委員会には「法」と「附帯決議」を厳格に遵守することを求めます。悪用を狙う一部の動きに対しては厳しく批判し対処していきます。

私たちは、本大会で決定した運動方針にもとづき、住んでよかったまちづくり、いつまでも住み続けられ、平和で人間らしい暮らしができる地域社会の実現をめざして引き続き奮闘するものです。

以上宣言します。

2018年6月10日

民主主義と人権を守る府民連合

第15回定期大会

北川市政3年—寝屋川市政を考えるつどい開催

命と暮らしを守る宣言は“宝物”

5月20日、「市民の声がとどく寝屋川市政をつくる会」主催の、北川市政3年—「寝屋川市政を考えるつどい」が寝屋川市民会館で開催されました。谷口正暁つくる会代表が「北川市長は、命・子ども・町・暮らしを守るを基本に目に見える成果を上げてきました」と開会挨拶。北川法夫市長から「市民の声に耳を傾け、笑顔が広がるまち寝屋川の実現に全力でとりくんでまいります」のメッセージが寄せられました。リレートーク・フリー討論では、保育・教育・まちづくり・社保協・ごみ交流会・廃プラの会・新婦人・市議会・市民プールをつくる会など各分野から北川市政の成果と課題が報告されました。アンケートには「市長が変わって市政が変わったことが良くわかった、みんなに知らせたい」「市民の命と暮らしを守る宣言は、宝物だと思います」などたくさんの方が寄せられました。